

農研機構が開発を進める新品種

作物	開発を進める品種	重点課題	政策対応				
			多収性 国産化	気候変動 対応	輸出	化学農業 ・肥料低減	スマート 対応 省力化
水稲	温暖化に伴う白未熟粒の発生のみならず、減収、病虫害被害にも対応した業務・輸出向け水稲	低コスト 生産	◎	◎	◎	○	
小麦	輸入小麦並みの品質を持つパン・菓子用の多収性小麦 ・汎用性が高い通常アミロースでん粉特性 ・播種期の拡大に適応 ・カビ毒の低蓄積性	小麦本作化	◎	○		○	
	コムギいもち病抵抗性小麦		○	◎		◎	
大麦	酵素力が高い極多収性大麦（蒸留酒用） ・土壌伝染性病害抵抗性及びうどんこ病抵抗性 ・発がん性物質低減		◎	○	◎	◎	
大豆	夏季の高温・干ばつに対応し機械化栽培にも適した多収性大豆	大豆本作化	◎	◎			◎
しかん	昨年発生が確認された腐敗症状等の被害に対応した病害抵抗性及び高温耐性かんしょ	防疫対策	◎	◎		○	
ばれいしょ	高温下においても品質劣化のない安定多収ばれいしょ		◎	◎		○	
さとうきび	黒穂病に抵抗性を持ち株出し適性に優れたさとうきび		◎	○		◎	○
てん菜	直播適性が高く、高温下においても根中糖分が低下しない耐病性（褐斑病抵抗性）てん菜	輪作維持	◎	◎		○	○
そば	高温下での作期移動に対応できる安定多収そば		◎	◎			○
茶	気候変動に対応可能な早生および晩生の高品質茶	輸出拡大	○	◎	◎	○	
りんご	春季の病害感染リスクを低減可能な黒星病抵抗性の良食味りんご		○	◎	◎	○	
	ゲノム編集による自家和合性のりんご		○	◎	○		◎
もも	温暖な環境下でも安定生産可能な極早生もも		○	◎	○		
にほんなし	結実管理が省力化可能な黒星病抵抗性にほんなし		○		◎	○	◎
	温暖化においても発芽不良の発生しにくいにほんなし		○	◎	○		
かつき	ウンシュウミカンに代替可能な高温でも浮皮しにくいかつき		○	◎	○		○
かき	温暖化に適応し極早生で初めての東北向けの完全甘がき		○	◎	○		
うめ	晩霜害リスク低減に資するうめ		○	◎			
ナス科野菜	高温条件下において、裂果しにくく多収性も備えたトマトや黄化葉巻病抵抗性のトマト	温暖化対策	◎	◎		○	
	機械化収穫が容易なように果房が一定の方向に出現・形成するトマト		○				◎
	収穫果実数を増加させた単為結果・高生産性多収なす		◎			○	◎

作物	開発を進める品種	重点課題	政策対応				
			多収性 国産化	気候変動 対応	輸出	化学農薬 ・肥料低減	スマート 対応 省力化
いちご	夏季の高温条件下でも収穫時期が長く大玉化等の性質を有する高生産性多収いちご		◎	◎	○		
野菜 ユリ科	夏の高温時でも抽苔や生育遅延の発生がなく、高品質・高収量なねぎ		◎	◎			
野菜 ナブ アブラ	寒地・寒冷地において高温で発生する内部褐変症に耐性を持ち、高品質・高収量なだいこん	温暖化対策	○	◎			
野菜 ウリ科	ゲノム編集による高日持ち性メロン		○		◎	○	
花き	重要病害であるキク白さび病抵抗性や、耐暑性に優れる全国向けキク科花き類		○	◎	◎	◎	
ろと うも こし	耐湿性と耐病性を併せ持ち、青刈、子実利用が可能な飼料用とうもろこし	国産拡大	◎	○			
牧草 マメ科	耐病性に優れ、チモシーとの混播適性に優れる寒地向けマメ科牧草（アルファルファ、アカクローバ）		○	◎		◎	
イネ科 牧草	耐病性、耐倒伏性に優れ、広域適応性を持つ一年生イネ科牧草（イタリアンライグラス）	国産拡大	○	◎			
	越冬性、越夏性、耐病性に優れる採草地向け多年生イネ科牧草（フェストロリウム等）		○	◎			

開発を進める各品種は、表中に印（◎、○）を付けた政策に対応する関連形質を全て備える。◎、○の順に重要度が高い。